

セーフコミュニティ国際認証再取得に係る
「郡山市セーフコミュニティ再認証式」
を実施します。



令和5年1月26日
郡山市市民部
セーフコミュニティ課
課長 渡辺 正樹
TEL：924-2151

SDGs ターゲット 17.17 「官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

昨年11月にセーフコミュニティ国際認証審査員による現地審査を実施し、再認証の内定を受けておりましたが、下記のとおり再認証式を実施し、正式に再認証を取得いたします。

また、令和4年度セーフコミュニティ賞受賞者が決定し、再認証式第二部において表彰式を行います。

記

- 1 日時 令和5年2月4日（土）
第一部 合意書署名式 午後1時30分から午後2時10分
第二部 セーフコミュニティ賞表彰式 午後2時30分から午後3時
※ 詳細は別紙「郡山市セーフコミュニティ再認証式次第」のとおり
- 2 会場 郡山市役所本庁舎2階 正庁
- 3 出席者 一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 白石陽子様
郡山市長 品川萬里（郡山市セーフコミュニティ推進協議会会長）
郡山市議会議長 塩田義智様
郡山市自治会連合会長 鈴木光二様
郡山市セーフコミュニティ推進協議会副会長
同 分野別対策委員会委員
（交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全）
セーフコミュニティ賞受賞者（別紙名簿のとおり）
セーフコミュニティ推進自治体職員

<セーフコミュニティ再認証>

セーフコミュニティの理念に基づき継続的に事故やけがの予防に取り組み、その経験を国内外へ普及することについて、セーフコミュニティ認証センターと郡山市との間で合意書を取り交わし、センターから認証の報告を受けます。

<セーフコミュニティ賞>

セーフコミュニティ活動の一層の普及及び拡大を図るとともに、安全にかつ安心して暮らすことができるまちづくりの推進に寄与することを目的として、市内においてけがや事故を予防する活動を行い、安全で安心なまちづくりに先導的な役割を果たしていると認められる個人又は団体若しくは事業者を表彰しています。

セーフコミュニティ国際認証再取得までの歩み

2014年	11月	品川市長がセーフコミュニティの取組を宣言
2015年	5月	郡山市セーフコミュニティ推進協議会の設立 外傷サーベイランス委員会の設置
	7月	6分野の対策委員会を設置（交通安全、こどもの安全、 高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全）
2018年	2月	セーフコミュニティ国際認証取得 （県内初・国内15番目・世界で391番目）
2021年	11月	再認証取得に向けた事前指導を実施
2022年	11月	オンラインによる現地審査を実施
2023年	2月	セーフコミュニティ国際認証再取得

プロフィール



ミカエル・グリヴナ氏

2014年からセーフコミュニティ認証審査員として活動しており、審査員に就く前は、中央及び東ヨーロッパで外傷予防(管理)に携わっていた。グリヴナ氏が、1997年にカレル大学(チェコ共和国)に設立した傷害疫学・傷害予防センターの活動は、チェコ政府によって全国子ども傷害予防プログラムとして国レベルの子ども傷害予防プログラムとして導入された。また、ヨーロッパ子ども安全連盟においてリーダー的役割を担っている。郡山市の過去の現地審査も担当。



ジョニー・ペ氏

2014年からセーフコミュニティ認証審査員として活動しており、日本においても久留米市や松原市、さいたま市の審査を担当している。セーフコミュニティに関する分野において長年の経験を有し、国際セーフコミュニティ研究機構のセンター長として韓国内の多くの自治体の支援を行っている。本拠地である釜山市においては、セーフコミュニティ研究センターのディレクターであり、認証プロジェクトのプログラムリーダーとしてかかわっている。



マイケル・ウィルソン氏

アメリカやスウェーデンの大学で公衆衛生の教育を受けた後、これらの国や南米、アフリカ等において研究者としての実績を重ねる。タンザニアでは、外傷予防及びコミュニティ安全向上センターのディレクター及び共同設立者、タンザニアデジタルライブラリーイニシアチブの設立者及び技術的リーダーとして積極的に地域レベルでの安全向上に取り組んでいる。日本においては、泉大津市や豊島区の審査を担当している。



白石 陽子氏 一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事

立命館大学大学院政策科学研究科博士課程在学中にセーフコミュニティの発祥地であるスウェーデンのカロリンスカ研究所(医科大学)でセーフコミュニティを学ぶ。代表を務める日本セーフコミュニティ推進機構はセーフコミュニティ支援センター、インターナショナルセーフスクールの認証センターとして認定されている。郡山市のセーフコミュニティ活動を取組当初から支援。



この印刷物は、環境にやさしいFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

郡山市 セーフコミュニティ再認証式



令和5年2月4日(土)
郡山市役所 本庁舎2階 正庁



次 第

【第1部】合意書署名式（午後1時30分から午後2時10分）

- 1 開会
- 2 合意書署名
- 3 認証報告
- 4 認証盾・認証旗授与
- 5 認証審査員メッセージ
- 6 式辞
- 7 感謝状贈呈
- 8 閉会

【第2部】セーフコミュニティ賞表彰式（午後2時30分から午後3時）

- 1 開会
- 2 式辞
- 3 表彰
- 4 祝辞
- 5 審査員講評
- 6 受賞者代表挨拶
- 7 閉会

審査員メッセージ(要旨)

親愛なる郡山市民の皆様、そして品川市長及び
郡山市セーフコミュニティ推進協議会、分野別対策委員会の皆様

今回、国際セーフコミュニティネットワークの一員として、2回目の認証という郡山市にとって記念すべき重要な日を皆様と共に祝いできることをとても光栄に思っています。

私は、前回(2018年)の貴市の初めての認証においても審査を務めさせていただき、認証式典では皆様とともに認証を喜んだことを今でも覚えています。

今回、2022年11月に、韓国のジョンイ・ペ先生、フィンランドのマイケル・ウィルソン先生と共に、皆様がどのようにセーフコミュニティを盛り上げ、取組を続けてこられたかを書類審査・オンラインでの現地審査を通して確認させていただいた内容は、どれも非常に印象深いものでした。

とりわけ、コロナ禍で様々な困難が続く中、郡山市は様々な課題において、事故や心身のけがを減らすという素晴らしい成果を得られ、より安全なまちへと進化されました。

幅広い安全課題に向けて、皆様は分野・組織を越えて協働で取り組み、市長はじめ行政がオール郡山の取組となるために支援・尽力されてきました。

市や関係機関の様々な分野での努力、そして市民の皆様の積極的な参画によって取組が継続的に実施され、その結果として素晴らしい成果を得ることができたのです。

貴市のこれまでの取組とその成果は、再認証に値するものであり、全7つの指標を十分満たしていると判断し、貴市が引き続き国際セーフコミュニティネットワークの一員としての条件を十分に満たしていることをスウェーデン・ストックホルムにある認証センターにお伝えすることができました。

貴市の素晴らしい成果と進歩を認証センターにお伝えできたことをうれしく思っています。

改めて、この度は再認証おめでとうございます。

セーフコミュニティ認証審査員(正審査員)
Michal Grivna (ミカエル・グリヴナ)



合意書

国際セーフコミュニティ認証センター

及び

郡山市

は

全ての環境・状況の安全を対象に、市全域、全年齢の市民の傷害予防を通じた安全なまちづくりに継続して取り組むことをここに合意します。
また、この取組に関わる者として、安全なまちづくりの取組を記録・評価するとともに、国内外への普及に向けて活発に発信していくことに合意します。

日本国 郡山市
2023年2月4日

品川 萬里
郡山市長

ミカエル グリヴナ
セーフコミュニティ認証審査員(正)

塩田 義智
郡山市議会 議長

レザ モハマディ
国際セーフコミュニティ認証センター センター長

鈴木 光二
郡山市自治会連合会 会長

白石 陽子
(一社)日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事

令和４年度郡山市セーフコミュニティ活動推進表彰事業「セーフコミュニティ賞」受賞者一覧

件数：12件

(五十音順)

	団体名・個人氏名	主な活動内容
1	石筵サロン会	高齢者を対象に健康チェックや健康体操、脳トレなどのほか、栄養や転倒事故防止などの学習会を毎週実施している。また、地域の子どもとの交流や小学校や公民館の清掃活動も行っている。安否確認を兼ねて実施しているため、会を開催できない週は役員が安否確認を行っている。
2	大槻小地区見守り隊	児童・生徒の通学時の防犯と安全確保のため、毎日、登校時と下校時に見守り活動を行っている。また、活動をより良いものとするため、学期終了後に学校や行政を交えて活動の振り返りと今後の活動方針、危険個所の確認などを行っている。
3	学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園	園内で「幼年消防クラブ」を組織し、月１回の避難訓練や防犯教室、防火ポスターコンクール参加等の活動を行っている。様々な活動のほか、２月に卒園する児童から在園児への引継ぎ式を通して、園児や保護者への安全安心の意識向上を図っている。
4	郡山地区交通安全協会方八町支部	地域の交通安全のため、交通安全教室やのぼり旗を持つての街頭啓発活動、広報車による広報活動、支部管内の交通死亡事故発生地点に看板の設置などを行っている。地域での行事の際に交通整理を行うなど、地域と連携した活動を行い、安全安心のまちづくりに寄与している。
5	佐川急便株式会社郡山営業所	郡山市内の小学校、幼稚園、保育園等を対象に交通安全教室を無料で開催し、実務を通じて培った交通安全のポイントを子どもたちに伝えている。また、防犯対策委員会で作成した「見られていますよステッカー」を配達トラック全80台に貼付し、市民の安全安心に寄与している。
6	柴宮小・地域子ども見守り隊	児童・生徒の通学時の防犯と安全確保のため、毎日、登校時と下校時に見守り活動を行っている。見守り活動を通して、通行車両の交通安全啓発にも繋がり、安全安心のまちづくりに寄与している。
7	下高玉サロン会	高齢者の生涯学習の場として、介護予防、健康維持、転倒予防のための体操やレクリエーション、熱中症予防などの学習会を行っている。また、会員の連絡網を作成し、独居高齢者・高齢世帯の安否確認と災害の際の緊急避難行動の連絡に活用している。
8	中町はなさと保育園	毎月の避難訓練、安全指導のほか、災害に備える訓練として、保育者と保護者が連携し、保育園の夏祭りを活用し、ICTを活用した子どもの「引き渡し訓練」を実施した。また、入居しているビューホテルでの訓練にも参加し、連携を図っている。
9	日本大学工学部	学生支援室を設けカウンセラーによる相談を受け付けているほか、学生を対象としたゲートキーパー養成講座を開催、自殺予防対策委員会と協働し自殺予防の常設パネル展示を行うなど、若者の悩みや不安に積極的に関わっている。また、年に２回の学内交通安全指導や、防災マニュアルを学生やその家族に配布するなど、安全安心活動を積極的に行っている。
10	日本たばこ産業株式会社福島支社	自殺予防キャンペーンの街頭啓発活動に３年前より参加し若者を中心にチラシを配布し自殺予防活動に貢献している。また、５年前より理容組合と協働し、郡山駅前清掃も行っており、市民の安全安心に寄与している。
11	額賀 威佐尾（ぬかが いさお）	鳴神地域の街頭パトロール等の交通安全活動、児童の登下校時の見守り等の子どもの安全活動、防犯パトロール等の防犯活動、町内６箇所のゴミ集積所の管理活動等の環境安全活動を約20年間継続し、長年地域の安全安心活動に寄与している。
12	みほたカフェ＆マーケット運営協議会	月１回「みほたカフェ＆マーケット」を開催し、主に高齢者の閉じこもり対策として、地域の交流の場の創出、介護予防に取り組んでいる。高齢者のほか、地域住民にも参加を呼びかけ、地域住民の健康増進、安全安心のまちづくりに寄与している。